

8月4日(金)から「静岡理工科大学地域学講座」開講

袋井市と静岡理工科大学との包括連携協定による第4回静岡理工科大学地域学講座」が開講。

今回のテーマは「ラグビーワールドカップに向けたまちの国際化～私たちは袋井で〇〇する」。

袋井市と静岡理工科大学は、包括連携協定による「静岡理工科大学地域学講座」を8月4日から開講します。全4回。

今回テーマは「ラグビーワールドカップを契機とした国際化」、学生自身が袋井市のために何ができるかを議論し政策提案する。

また、30代前半の市職員5人がファシリテーターとなり、グループワークをリードする。

袋井市と静岡理工科大学は、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、学生42人（1年生：33人、2年生：7人、3年生：2人）を対象に「地域学」講座を開催します。

本講座は平成26年度から開講し4回目。大学の通常授業と同じ選択制講義であり、グループワークやフィールドワークを経て、政策を提案し、その結果をもって単位を取得するものです。

1 事業名 第4回静岡理工科大学地域学講座

2 テーマ ラグビーワールドカップに向けたまちの国際化
「私たちは袋井で〇〇する」

【テーマ設定】袋井市ではまちの国際化を推進しており静岡理工科大学は大会会場に近接していることから、学生自身が、まちの国際化への参画を果たすため、政策提案をします。

3 目的 大学生・グループワークやフィールドワークを通して政策立案までの具体的な手法を学習
・まちづくりへ参加し地域活動に貢献
袋井市・大学生の視点から施策を検討
・学生とのグループワークを通じて市職員のファシリテーター能力高める

4 開講日・内容

1回目 8月4日(金) 市長講話 ・グループワーク
2回目 8月16日(水) フィールドワーク(エコパ) ・グループワーク
3回目 8月17日(木) グループワーク
最終日 8月18日(金) グループワーク・提案発表

5 担当 袋井市企画財政部企画政策課企画係 電話：0538-44-3105